

# Caduceus Information

# カデューシャス 通信 Vol.6



病院前にて撮影

## IT化第2弾 －PACS(院内画像配信システム)の導入－

放射線科技師長 大矢 高信

## 平成20年度「外来患者さま待ち時間調査」報告

医事課長 石崎 正人

## 医療安全管理委員会

5階病棟師長 相澤 千春

## 言語療法室

リハビリテーション科主任 高田 美樹  
(言語聴覚士)

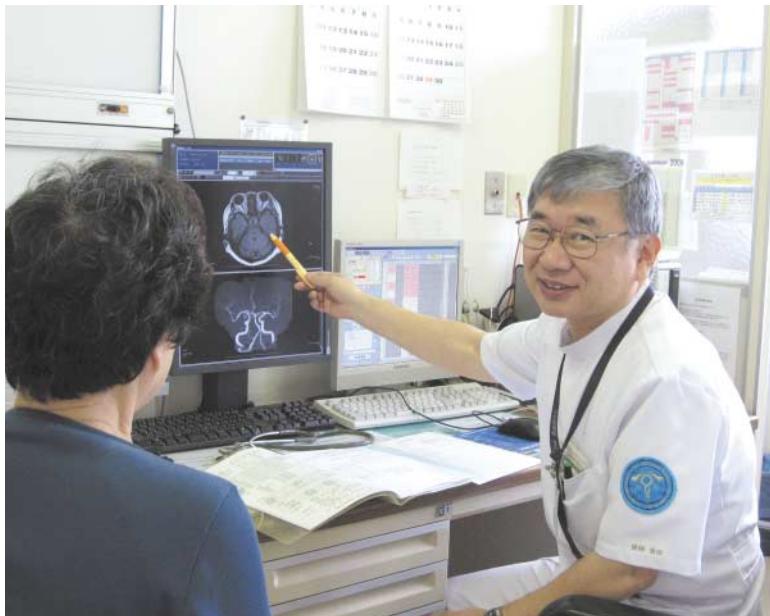
### シンボルマークについて



当病院のシンボルマークは、平和と医術の象徴であるカデューシャス(Caduceus)のつえを頭蓋骨穿孔器に置き換えたもので、ヘビの顔は世界を知る意味で外に向いています。翼の下にある「HOSHINO NEUROSURGERY」は脳神経外科(Neurosurgery)のことを意味しております。

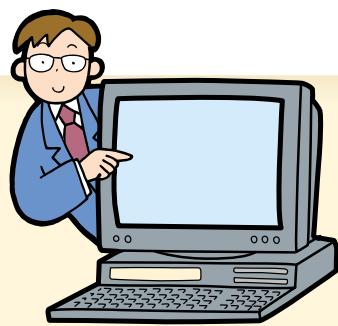
# IT化第2弾 PACS(院内画像配信システム)の導入

放射線科 技師長 大矢 高信



<会田院長の画像診断結果の説明風景>

今年、IT化第2弾として、外来の予約システムに続き4月よりPACS(院内画像配信システム)を開始しました。このシステムは、今までフィルムに現像して見ていたCTやMRI等で撮影した断層写真を診察室や病棟の画面(高精細モニタ)で見られるようにしたもので、PACSと言います。このPACS導入によって、現像時間と診察室までフィルムを持参する時間がなくなったので、検査が終了してからの処理時間が短くなり、診察の際には検査結果画像を速やかに見られるようになりました。



## その他、今回のシステムによって

- 病気の視覚的な説明がよりわかりやすくなる
  - 前回の検査との比較がより簡単になる
  - 外来患者様の待ち時間が短くなる
- ということが期待されます。

まだ始まったばかりなので、前回の検査結果との比較はしばらくの間フィルムを使用いたしますが、いずれ全ての検査結果像がモニターで見られるようになります、よりわかりやすくなるでしょう。



<症例検討をする時の大画面モニター>

# 平成20年度『外来患者さま待ち時間調査』の結果を ご報告いたします。

医事課長 石崎 正人



このたび当院では、医療サービス向上の取り組みの一環として『外来患者さま待ち時間調査』を実施しました。今回の調査は、外来診療の予約制を実施してから初めての調査となり、その成果が計られる重要な調査となりました。

その結果を大まかにまとめましたのでご報告いたします。

●調査期間	平成21年3月23日(月)から4月4日(土)まで(診療実日数12日間)
●調査対象	外来患者さま全員(但し「救急搬送患者さま」「外来受診後そのまま入院された患者さま」「各種健診を受けられた患者さま」は対象外としました)
●有効データ件数	外来患者さま870名分
●主たる調査区分	(1) 受付されてから診察や検査を受けられるまでの待ち時間 (2) 受付されてから、診察や検査が終わり、会計を済ませてお帰りになるまでの時間

## 調査結果

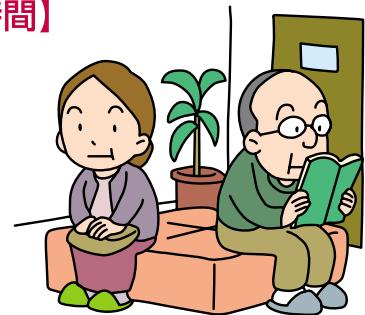
- ※ 調査区分ごとの「平均時間」について検証を行いました。
- ※ 予約されている患者さまの待ち時間は、受付した時間からではなく、予約時間からの待ち時間を表わしております。

### (1)【受付されてから診察や検査を受けられるまでの待ち時間】

- 予約されている患者さま……24分
- 予約されていない患者さま……53分

### (2)【受付されてから、最後に会計を済ませてお帰りになるまでの時間】

- 予約されている患者さま(診察と検査あり)……1時間25分
- 予約されていない患者さま(　　//　　)……2時間5分
- 予約されている患者さま(診察のみ)…………33分
- 予約されていない患者さま(　　//　　)……1時間2分



## まとめ

- 予約制を導入して以降、初めての調査であったため、調査区分ごとに前回調査との比較は出来ませんが、前回調査と同じ調査区分(予約されていない診察のみの患者さまの、受付から最後に会計を済ませてお帰りになるまでの時間)だけを比較したところ、20分ほど短縮されております。  
これは、予約制の導入により、患者さまの来院時間が分散され、その結果、予約されていない患者さまの待ち時間についても短縮されたものと考えられます。
- 予約されている患者さまと、予約されていない患者さまとの待ち時間に差が出ることは調査前から予想されておりましたが、この調査によりその差が具体的な時間として明らかになりました。  
今回の調査結果を踏まえ、外来受診の際には出来るだけ予約をお取りいただくよう積極的に案内を行いながら、時間が長くかかっている箇所と、その原因を探り、無駄な待ち時間が発生しないよう改善に向けて取り組んで参ります。

# 医療安全委員会

5階病棟師長 相澤 千春



## ◆目的

北海道脳神経外科記念病院における医療事故及び医療過誤を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立することを目的としています。

目標：医療従事者の個人レベルでの事故防止対策と医療施設全体の組織的な事故防止対策を推し進めるこことによって医療事故をなくし、患者様が安心して安全な医療を受けられる環境を整える事を目標にしています。

## ◆取り組み

- 1) 医療安全管理委員会の開催(月1回定例会議)
- 2) 医療に係わる安全確保を目的とした報告で得られた事例の発生原因の分析(インシデント・アクシデント報告及びRCA分析・対策の決定)
- 3) 再発防止策の検討および職員への周知(安全だよりの発行)
- 4) 院内の医療事故防止活動および医療安全に関する職員研修の企画立案(年2回全職員を対象とした研修会の開催)

H20.7月 『防災マニュアルの確認と災害トリアージ』

H20.11月 『MRI検査を安全に行うために～MRI 磁場体験』

H21.4月 『救命救急～BLSを学び、実践してみよう』

## ◆オリジナリティー

- 1) 北海道脳神経外科記念病院オリジナルRCA分析法にて分析・対応策・評価を行っています。
- 2) 最新マニュアル：ラテックスアレルギー安全対策ガイドライン作成しました。
- 3) KYT訓練(危険予知トレーニング)：医療現場の写真撮影を行い、それをもとにKYT訓練を行っています。
- 4) 安全マニュアルチェックシートによる自主点検と確認テストの実施で職員の安全知識力がアップしています。
- 5) 北海道脳神経外科記念病院オリジナル注射安全施行宣言に基づいて実施しています。



# 言語療法室

リハビリテーション科主任(言語聴覚士) 高田 美樹



## ◇発音をなおすことだけではない『ことばのリハビリ』

『ことばのリハビリ』と聞くと多くの方は【あいうえお】など、「発音の練習をやっているのでしょうか?」と思われるようですが。確かに言語障害の中には「構音障害」と呼ばれるものがあり、主に唇や舌に加え、口の奥にある“軟口蓋”という場所の動きなどが悪くなることによって音がきれいに出せなくなったり、脳の損傷部位によっては“声が上手く出せない”“話す速度やリズムが崩れてきれいにしゃべれない”という事があります。このような場合はその症状が出ている原因を調べ、症状に合わせた“口の運動”“しゃべるための呼吸訓練”“发声訓練”“発話速度やリズムの調節訓練”などを行います。しかし、これは『ことばのリハビリ』の中のほんの一部です。

## ◇お勉強でも暗記でもない言語訓練

脳神経外科で見られる言語障害の中には『失語症』といわれるものがあります。これは簡単に言うと『言葉そのものをうまくつかなくなる』症状です。“失う”と書きますが、正確には脳の中から言葉が消えてしまったわけではなく、脳の中にある言葉をうまく運用できなくなる状態です。このため、失語症では話すことだけが障害されるわけではなく、『ことば』を“聞いたり”“読んだり”“書いたり”することにも障害が現れることがあります。

これらの症状は、原因となっている脳の病気の場所や程度によって一人一人違うため、訓練は個室で机の前に座っていただき、それぞれの症状を詳しく調べるところから始まることが多いです。そのためか『勉強する』『ことばを忘れたから、覚えなおす』と思われる方が多いのですが、言語聴覚療法で行っている『ことばのリハビリ』は言葉そのものを覚えたり、勉強するのとは少し違います。頭の中に保管されているたくさんの言葉の中からその場に必要なものを“選んで、取り出し”しゃべったり、文字を書いたり、相手の言っている言葉の意味を理解する訓練です。言い方を変えると『既に頭の中に蓄積されている言語の情報をうまく使えるようにする練習』です。何度も繰り返し同じ訓練をする必要があるため、大変ストレスを感じる方が多いと思いますが、「お勉強」ではないので、出来れば、少しでも笑顔になっていただき、時には大笑いしていただけるよう、リラックスできる環境づくりも心がけたいと思っています。

## ◇言語聴覚士のもう一つの姿

構音障害や失語症のほかにもコミュニケーションに関わる高次脳機能障害などいろいろな障害があり、言語聴覚士はそれぞれにあわせた「検査」「訓練」「助言」「指導」などを行っていますが、実は、言語聴覚士には、コミュニケーションに直接関係の無いお仕事があります。それは摂食機能療法という「食べるための訓練」です。

のどや口は喋るためにも、食べるためにも使うため、言語聴覚士がみせていただくことが多い分野です。飲み込みづらい、口の中に食べ物がたまってしまう…などの症状がある方は主治医の先生に相談してみてください。訓練が必要な場合は、主治医の指示を受け言語聴覚士がお部屋にお伺いいたします。

## ス タ ッ フ 紹 介



3階病棟  
油谷 幸恵



4階病棟  
近江 厚子



作業療法室  
石垣 美郷



外 来  
本間 美和



放射線科  
池嶋 春美

作業療法室ではいつも明るく笑顔で患者様ドリビリを実施しています。発症直後の意識障害のある方から社会復帰を目指す方、実際に社会生活をしている方、患者様のご家族の方々など広く関わっています。病気によってうまく出来なくなった動作に対して、能力を最大限に引き出せるように機能訓練、高次脳機能訓練、日常生活動作指導、自助具、福祉用具の紹介、作成、生活環境の調整など生活そのものを強くサポートしていくよう努力しています。少しでも生活に対して不安なことがありましたらお気軽に、6階作業療法室へお越し下さい。心が少し楽になるかもしれません。

秘書室では医師が毎日の仕事を気持ち良く効率的にできるように手助けをしながら、医師と他部署との連携が円滑にいくように心がけて仕事をしています。一人でも多くの患者さまから選んでいただける病院になれるよう、微力ではありますが日々努力しております。患者さまやご家族の方々と接する機会はなかなかありませんが、お気づきの点などがありましたら、お気軽に声をかけてください。

# 外 来 診 療 体 制

診療担当医表

神経内科 循環器内科

※印の診療を希望される場合は、事前にご相談下さい

診療受付 8:40~

電話での予約受付時間  
9:00~17:00

**診療時間** 平日／9:00～17:00  
土曜日／9:00～12:30  
日・祝日／休診（但し急患隨時受付）

診療予約

外来診療の予約が可能です。  
詳しくは『電話9:00～17:00』または『受付窓口』にてお問い合わせください。

※予約申込は原則、受診希望日の前日までにお願いいたします。

※予約をされていない場合でも、従来通り診察させていただきます。

歯科

診療時間

月・金	10:00~13:30	15:00~18:00
火・木	10:00~13:30	15:00~20:00
水	10:00~13:30	15:00~18:00*
土	10:00~14:00	

※水曜日の午後は他院往診のため、休診となる場合があります。  
お電話でご確認の上、ご来院下さい。

休診日

## 第2・第4土曜日、日曜日・祝祭日

齒科直通

**TEL&FAX: (011) 717-1648**

# Caduceus Information

北海道脳神経外科記念病院は、  
北海道大学キャンパスを背にし、  
中央区の中でも、縁多く心安らぐ  
環境に位置しております。



## ◆交通の便

- 地下鉄北24条駅／  
中央バス(北72線)南新川下車
  - JR札幌駅／  
中央バス(西51線)北22条  
西15丁目下車
  - 地下鉄二十四軒駅／  
JRバス(西32線)南新川下車

医療法人社団 研仁会 北海道脳神経外科記念病院

〒060-0022 札幌市中央区北22条西15丁目 TEL.011-717-2131

<http://www.hnsmhp.or.jp/>